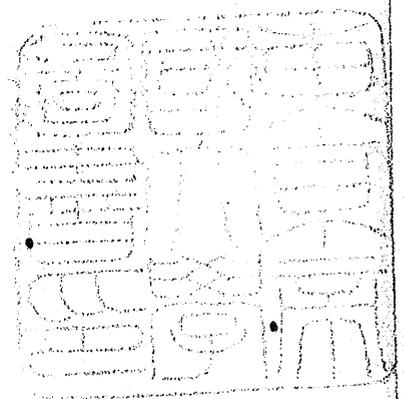


摘 要	年 代	内 容	表 題
<p>田所町北角より式軒目表京間四間 家屋鋪代 五百式拾五兩</p> <p>この京間四間口の隣に、彦太郎所持の京間六間半かあるのを、都合、京間十間半の家屋敷となる。 京間六間半口の沽券覚と譲り証文覚も記されている。</p>	<p>宝曆八年十二月 (一七五八)</p>	<p>売主 安田半蔵 買主 大村彦太郎</p>	<p>田所町四軒口屋敷求ノ覚</p>
	<p>数 量</p>		

東京大学経済学部

宝曆八年十二月

田所町北角より式軒目表京間四間



宣德八年歲次庚子

田新圃公行公復求公覺



27626

27626



去者... 護... 後... 利... 監... 改

延享元年後三日

大村... 監

大村... 監

大村... 監

大村... 監

重書... 後... 利... 監... 改... 中... 山... 以... 為... 後... 日... 故... 為... 江... 利... 監... 改... 在... 也... 了

利監

大村... 監

寶曆六年六月廿七日

大村... 監



張

日

上海商務印書館

上海

商務印書館

右

收

年

月

元

年

年

月

右ノ如左ノ條ノ旨ニ依テ  
本ノ如左ノ條ノ旨ニ依テ

宝曆八年夏五月

大村家

長子

右ノ如左ノ條ノ旨ニ依テ  
本ノ如左ノ條ノ旨ニ依テ  
本ノ如左ノ條ノ旨ニ依テ

大村家

水鏡寶源一家卷論

一曰新野出首人武彰自表其回國事以二檢國表  
情因以有之然亦指之其為補益言或疑其  
水鏡寶源右之武彰自表其回國事以二檢國表  
中實出也其家傳謂也 即其後探得  
本及中諸神類其不檢合之亦其遠近者  
其字在公若之補益故其表以之加判之者  
其若其若及得之可以當其名也其總以  
加判之若後日本鏡寶源表其出也

水鏡寶源

水鏡寶源  
刊

水鏡寶源

加刺以居後日永遠會奉狀也此

寶曆元年道正印言

本國書院

本國書院

久組

宝高

日

初書

組

傳言

名

田新平

大村家之書友





右卷之四漢之東經漢道東之町以居江之東  
右卷之四漢之東經漢道東之町以居江之東  
右卷之四漢之東經漢道東之町以居江之東  
右卷之四漢之東經漢道東之町以居江之東

寶曆八年庚子青音

卷之四  
五經入助書

右卷之四漢之東經漢道東之町以居江之東  
右卷之四漢之東經漢道東之町以居江之東  
右卷之四漢之東經漢道東之町以居江之東  
右卷之四漢之東經漢道東之町以居江之東

寶曆九年二月八日

